

私たち「フォーラム 労働・社会政策・ジェンダー」では、真の男女平等、ディーセントワークの実現をめざして、4年間学習と討議を重ねて、下段に示すような「報告集」を刊行しました。

それらの内容を広く皆さまと共有しあうとともに、ジェンダー平等度のランキング世界 101 位(ダボス会議)という日本社会の格差と貧困、ジェンダー差別をもたらしている社会政策・労働政策について、何が基本的な問題であり、変革のために何が必要なのかを2回にわたるシンポジウムで共に深めたいと思い、ご案内いたします。

## シンポジウム

# いま、この時代に働くこと生きること ～ディーセントワーク実現をめざして (Part1)

### <プログラム>

「安倍政権の“社会政策” —その功罪と女性」 北 明美 (福井県立大学教員)

「自助(共助・公助)政策」を受け継いだ現政権の少子高齢社会対策は、社会政策が人口政策に解消されていった戦前戦時を彷彿とさせます。現代日本のフェミニズムはそれにどう向き合うのか、みなさんと一緒に考えたいと思います。

「女性活躍推進法でディーセントワークは実現するか？」皆川 満寿美(早稲田大学他非常勤講師)

「女性活躍推進法」は、(今のところ)安倍政権の女性政策の目玉であるようですが、彼らのいう「女性活用」「女性活躍」は、「ディーセントワーク」と関係ないように見えます。女性管理職登用を焦点とするこの法律について、制定の経緯も含めて、みてみたいと思います。

会場討論 (30分)

### ■日時

2016年  
7月23日(土)  
13:30 ~ 16:30

### ■会場

ドーンセンター  
セミナー室

■資料代 1,000円

### <シンポジスト紹介>

北 明美 (きたあけみ)

1954年生/福井県立大学看護福祉学部教員/専門=社会保障論・社会政策論・労働経済論・ジェンダー論/主要論文=「年功賃金をめぐる言説と児童手当制度」濱口佳一郎編著『福祉と労働・雇用』ミネルヴァ書房2013、「1960年代の児童手当構想と賃金・人口・ジェンダー政策」大門正克他編『高度成長の時代2』大月書店2010他

皆川 満寿美 (みながわますみ)

1961年生/早稲田大学他非常勤講師/専門=社会学・エスノメソロジー・ジェンダー研究/共著『復興を取り戻す一発信する東北の女たち』2013岩波書店、『「ジェンダー」の危機を超える！徹底討論！バックラッシュ』2006青弓社他/『女性展望』(市川房枝記念会女性と政治センター)で「政策を読み解く」好評連載中

フォーラム 労働・社会政策・ジェンダーの4年間の学習会報告集 刊行！(シンポ当日より販売)  
「いま、この時代に働くこと生きること～ディーセントワーク実現をめざして」(13講座)

当日参加も可能ですが、資料準備の関係上なるべく事前にお申込みください [tnforum2013renraku@gmail.com](mailto:tnforum2013renraku@gmail.com)

「フォーラム 労働・社会政策・ジェンダー」は、2010年度に開催したセミナー「竹中恵美子に学ぶ」受講生有志が呼びかけて、セミナーで学んだ内容を活かしながら現代的課題について議論し、問題意識を深める目的で立ち上げられました。